



## ドライブスルーでコロナもスルー ～家庭応援企画～

5月5日、川辺地域の飲食店がテイクアウトメニューをドライブスルー形式で販売するイベントが開かれました。このイベントは「家庭応援企画」として川辺地域の飲食店7店舗が結集し企画したもので、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、販売はドライブスルー形式で行われ、訪れた人たちは車に乗ったままで惣菜などを買い求めていました。この日は、販売開始前から多くの車が並び、準備した400食は45分ほどで完売となる売れ行きでした。このドライブスルー販売は、諏訪運動公園で5月の毎週日曜日に16時から開かれています。



## 民生委員・児童委員の日 ～地域福祉の充実に向けて～

5月12日～18日は「民生委員・児童委員の日」として、民生委員が地域の中でさまざまな活動に取り組む活動強化週間となっています。民生委員は、普段から地域住民の見守り活動をはじめ地域福祉に関



▲登校中の児童にあいさつをする民生委員

する活動を行っています。強化週間中は、各小学校区に分かれ登下校中の児童にあいさつ運動を行うなど地域福祉の増進に取り組んでいます。

## 布製マスクを手作り ～介護施設の職員へ寄付～

4月24日、市商工会女性部川辺支部では、部員8人の方々が家庭にある布切れを持ち寄り、布製マスク100枚を手作りしました。この布製マスクは後日、川辺地域8か所のグループホームの職員に寄付



▲布製マスクを手作りする商工会女性部川辺支部の部員

しました。部員の方は「地域貢献活動として、介護現場で頑張っている職員を支援したいという思いから手作りしました」と述べました。

## 紺綬褒章受章 ～三宅一誠さん(知覧町出身)～

4月14日、知覧町出身の三宅一誠さんが、紺綬褒章を内閣総理大臣から授与され、市役所で市長が伝達しました。紺綬褒章とは、公益のために私財を寄付した方が授与される褒章です。三宅さんは、知覧武家屋敷群にある土地と建物を観光振興に役立て



▲知覧武家屋敷群

てほしいと、市に寄付してくださいました。寄付された物件は、今後、体験型観光の施設として活用される予定です。

## 知覧町土地改良区より寄付

3月30日、知覧町土地改良区より南九州市に16,218,368円の寄付をいただきました。同土地改良区は昭和32年に設立され、知覧地域の農業発展のため土地改良事業の推進に努めてまいりましたが、所期の目的を達成したことから平成31年2月に清算



▲寄付金を手渡す知覧町土地改良区清算人代表の内園三昭さん(左)

結了総代会を行いました。残余財産については、市へ寄付することで承認され、62年間の業務を終え解散しました。